

平成24年度事業報告書

平成24年5月21日から平成25年3月31日まで

1. 避難者を支える活動

(1) 事業の成果

設立初年度は、情報提供と相談業務を当法人の中心事業と位置づけ、東日本大震災による「避難者を支える活動」を進めることから開始した。

【相談窓口・情報提供業務事業】

まず、常設の相談窓口を開設し、避難者が悩みや困りごとをいつでも話せる場をつくり、また、訪問業務やアンケートなどを通し、個々の様々な問題解決に取り組んだ。相談窓口があることで、様々な情報が集まりやすかった。また、窓口では相談しづらい方にもメール対応をしたことで、相談を受けることができた。月に一度の機関誌を楽しみにしてくれている避難者が多く、手紙が届くことでつながりを維持しているんだと思えるとの感想もあった。アンケートの実施は避難者の抱えているものを知ることができ支援のポイントの理解につながった。

【被災者・避難者の『命と尊厳』を守るための事業】

(交流会事業)

被災者・避難者の『命と尊厳』を守る事業として、避難者の孤立化を防ぐため各種交流会を積極的に開催した。愛媛県内の避難者同士のつながりが見えるものとなり、笑顔がこぼれる場づくりができた。また、交流会やイベントなど活動を続けていくにつれ、愛媛県内で応援してくれる方々、福島の支援に関心のある方々などの輪がひろがり、避難者の孤立化軽減へとつながった。

(関係者間の総合調整事業)

避難者支援を行う関係者間との協議ができ、連携をとることができた。まず、愛媛県内の関係団体に定期的に足を運び、どの団体とも顔の見える関係が構築され、様々な問題を抱えた個々の避難者への相談を受ける側としても不安のない対応ができることにもつながった。また、2013年復興・減災フォーラム、子ども被災者支援法懇談会に参加、四国避難者フォーラムを主催し、東日本大震災による広域避難者、自主的避難者の現状と課題を把握するとともに課題解決に向け全国的取り組みを行った。

【自立支援事業】

自立支援事業としては、避難者、避難を考えている人々に求人情報の提供・支援を行った。また、松山市シルバー人材センター主催のプロジェクト「製菓加工品事業」に協力し、就労を希望しながらも、なかなか仕事が見つからないなどの避難者にとって、自立へのステップとなるよう、計24回の製菓技能講習を実施した。

(2) 今後の課題

【相談窓口・情報提供業務事業】

情報発信の部分でホームページを開設しているが、掲載が遅くれたりするなど不手際があった。また、相談窓口をもっと避難者に距離を感じさせないよう、コミュニティーサロンの役割として機能させるべきだった。

【被災者・避難者の『命と尊厳』を守るための事業】

(交流会事業)

避難者一人一人のニーズに答えるものができていたかどうか不安。高齢者が楽しめる交流会が不足した。

(関係者間の総合調整事業)

避難者支援事業を行うための各団体との個別協議はできたが、愛媛の全ての関係団体が集まる協議は開催できず協働での取り組みを行うまでには至らなかった。

【自立支援事業】

求人を紹介するだけで、仕事が順調かどうかなど、その先の支援が不足していた。

「製菓加工品事業」は、自立という面では避難者に役立っているかどうか、今の段階では分からないが、シルバーの方たちとの交流・避難者同士の交流を深めることができた。今後は、えひめ311の直接的な事業として、「製菓加工品事業」から学んできたことを活かし、避難者の自立支援に結びつけたい。

(3) 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
情報提供・ 相談業務事業	・情報発信の本拠地としての機能を置く。 ・相談窓口を開設し、電話、メールでの受付を開始する。 ・自治体へ相談窓口を開設したことを報告し、避難者に周知してもらう。 ・相談の内容によっては専門家を紹介する。 ・被災者、避難者への継続的なあらゆる支援	通年 メール は24時 間受信 可能	主たる 事務所	4人	・被災者、避難者及び関係者、これから移住、一時避難などを考えている方々 ・電話対応 のべ200件 ・メール対応 のべ900件 ・来訪対応 のべ230件	996
	・機関誌を発行し、情報提供	毎月11日 発行		1人		
	・医療・生活に関するアンケート実施	11・3月		1人		

被災者・避難者の『命と尊厳』を守るための事業	・県内避難者交流会	5月12日	石手寺	4名	避難者13名	163
	・避難者女子会	6月10日	ワクワクカフェ	2名	避難者8名	
	・自主避難者の会	6月17日	石手寺	2名	避難者8名	
	・県内避難者交流会	8月4日	石手寺	4名	避難者10名	
	・子ども対象にクリスマス会・福島から保養に来ている子どもたちと交流	12月25日	ルトリエドラン (伊予市)	2名	避難者13名	
	・2013年復興・減災フォーラム	1月13日	関西学院 大学	1名	参加者約200名	
	・小児科医師への相談交流会	2月16日	美味休心 (西条市)	2名	避難者17名 医師1名	
	・県内避難者交流会	2月16日	石手寺	4名	避難者8名	
	・第1回 四国避難者交流会	3月	香川県内	3名	四国内避難者50名	
	・四国避難者フォーラム	9,10日	香川県内	4名	参加者65名	
・震災から2年追悼式と交流会	3月11日	石手寺	4名	避難者30名		
・子ども被災者支援法懇談会	3月14日	議員会館	1名	参加者約100名		
自立支援事業	・みかんジュース販売	通年	事務所	4名	購入者	55
	・イベントで菓子製造販売	3月20日	イベント 会場		のべ30名	
	・製菓加工品事業	9月～12月 計24回	愛媛調理 製菓専門 学校	7名	参加者 のべ50名	

2. 被災地の復興に向けた活動

(1) 事業の成果

【被災地への継続的な支援を行うための事業】

安価でかつ安全な農産物を求める声に答え、福島を中心とした地域の人々への柑橘を中心とした農産物販売を始めた。被災地に住んでいる方々の笑顔が見れ、少しでも元気を届けることができた実感できた。東北では貴重な柑橘ということで、被災地の方々が喜ばれた。愛媛と東北という距離を乗り越え、農産物を通してつながり、身近な存在となれた。

(2) 今後の課題

【被災地への継続的な支援を行うための事業】

放射性物質の問題が大きく、被災地の物産を愛媛で販売することができず、安易には動けなかった。また、被災地の復興のための活動として十分と言えるものではなかった。この事業の内容をもう一度考えなければならない。

(3) 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
被災地への継続的な支援を行うための事業	・福島へ農産物販売事業	3月～	福島県内	2名	購入者 のべ80名	319

3. これから起こる災害に備える活動

(1) 事業の成果

【講演会やワークショップ、展覧会等開催事業】

主催、共催、参加を含めのべ15回実施した。

主催したワークショップでは、震災を風化させない取り組みと同時に、防災・減災ワークショップを開催し、愛媛県民に311を教訓とした、防災意識の向上の啓発をおこなった。ワークショップでは必ず学ぶ場(基調講演)を設定し、専門家から意見を聞くこととした。そうすることで、より積極的な参加型ワークショップになったと感じている。

本事業を通じ、震災の写真や映像、言葉を使い東日本大震災を振り返り、少しでも風化を防ぐ活動となった。愛媛県でも被害が想定されている南海地震をはじめ起こりうる様々な大規模災害を強く意識し、備える必要があるということを愛媛県民に認識してもらうことができた。

(2) 今後の課題

【講演会やワークショップ、展覧会等開催事業】

他の業務に手をとられ、イベントの内容を十分検討できなかった。

広報周知が不足のため、イベント参加者がなかなか集まらなかった。参加者を増やすための方法を考えていかなければならない。

(3) 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
講演会やワー クショップ、展 覧会等開催事 業	・Allowingfor2012 大切な人と過ごす 時間 写真パネル・資料展示	9月8日	松山市コミュニ ティセンター	7名	一般市民約100名	85
	・インスパイアジャパン 2012 写真パネル・資料展示	9月16日	大洲青少年 自然の家	1名	参加者約50名	
	・災害ボランティア養成講座講師 「震災が教えてくれたこと」	10月13日	総合福祉セ ンター	1名	参加者 約50名	
	・人権勉強会講師 「震災と人権」	10月16日	来住ふれあ いセンター	1名	参加者 約30名	
	・トークキング with えひめ311 災害時の薬剤師の活動発表	11月4日	ワクワカ フェ	3名	参加者 12名 講師 1名	
	・愛媛大学学園祭市民討論会	11月11日	愛媛大学	1名	参加者 約30名	
	・平和学授業 講師	11月16日	愛媛大学	1名	参加者 約20名	
	・父母と教職員の研究会発表	11月17日	にぎたつ会 館	1名	参加者 約30名	
	・松山市人権フェスティバル 写真パネル・資料・映像展示	12月9日	松山市コミュニ ティセンター	2名	一般市民約100名	
	・チャリティーバザー 被災体験発表	12月15日	大街道	2名	参加者 約20名	
	・松山市人権教育研究会 パネラー 参加	1月30日	松山市コミュニ ティセンター	1名	参加者 約100名	
	・地域応援セミナーちゅうよ 被災体 験発表	2月2日	松山大学	1名	参加者 約100名	
	・地域づくりフォーラム取り組み紹介	2月23日	ウエルビア伊予	1名	参加者 約80名	
	・愛媛から東北へ～あの日を忘れ ない～ パネラー参加	3月11日	総合福祉セ ンター	1名	参加者 約100名	
	・第1回 311 を教訓に！えひめのま ちづくりワークショップ	1月 19、20日	大洲青少年 自然の家	4名	参加者 24名	

平成 24 年度 財産目録

平成 25 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人えひめ 3 1 1

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	0		
普通預金 (伊予銀行道後支店)	1		
普通預金 (ゆうちょ銀行)	58,147		
普通預金 (ゆうちょ銀行)	17,617		
振替口座 (ゆうちょ銀行)	40,130		
未収金	416,120		
(助成金・農産物販売代金)			
仮払金	92,950		
(3月分農産物仕入れ・送料)			
流動資産合計		624,965	
2 固定資産			
車両	0		
備品	0		
敷金	0		
歴史的資料			
固定資産合計		0	
資産合計			624,965
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
預り金 (職員に対する源泉所得税)	0		
未払金 (手当・旅費・印刷代)	151,800		
前受会費 (12名分)	69,000		
流動負債合計		220,800	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			220,800
正味財産			404,165

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の貸借対照表」)

平成 24 年度 会計貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人えひめ 3 1 1

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(現金手許有高)	0		
普通預金(伊予銀行道後支店)	1		
普通預金(ゆうちょ銀行)	58,147		
普通預金(ゆうちょ銀行)	17,617		
郵便振替口座(ゆうちょ銀行)	40,130		
未収金	416,120		
仮払金	92,950		
流動資産合計		624,965	
2 固定資産			
車両	0		
什器	0		
備品	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			624,965
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	151,800		
預り金	0		
前受会費	69,000		
流動負債合計		220,800	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			220,800
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		404,165	
正味財産合計			404,165
負債及び正味財産合計			624,965

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

(法第 28 条第 1 項「前事業年度の活動計算書」)

平成 24 年度 活動計算書
平成 24 年 5 月 21 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人えひめ 3 1 1

科 目	金 額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
受取会費(入会金)	42,000		
受取会費(年会費)	156,000	198,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	616,045	616,045	
3 受取助成金等			
受取助成金(愛・ウエーブ)	100,000		
受取助成金(ふくしまふるさと帰還支援)	1,000,000	1,100,000	
4 事業収益			
情報提供・相談業務事業	0		
被災者・避難者の『命と尊厳』を守るための事業	0		
講演会やワークショップ、展覧会等開催事業	116,636		
被災地への継続的な支援を行うための事業	361,020		
自立支援事業	117,100		
その他目的を達成するために必要な事業	0	594,756	
5 その他収益			
受取利息	19		
雑収益	0	19	
経常収益計			2,508,820
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	513,865		
法定福利費	5,229		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	519,094		
(2)その他経費			
会議費	0		
会場費	16,680		
旅費交通費	140,740		
施設等評価費用	0		
印刷製本費	46,880		
通信費	98,484		
消耗品費	279,599		
需用費	16,548		
図書費(新聞代)	2,400		
賃借料(共益費を含む)	145,735		
保険料	560		

会議等参加費	34,000		
物産仕入	319,390		
その他経費計	1,101,016		
事業費計			
2 管理費		1,620,110	
(1)人件費			
役員報酬	0		
パート給料手当	192,525		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計			
	192,525		
(2)その他経費			
会議費	24,357		
旅費交通費	36,600		
施設等評価費用	0		
通信費	13,375		
一般物品費	42,807		
消耗品費	4,970		
水道光熱費 (灯油代)	6,951		
賃借料 (共益費含む)	150,000		
広告宣伝費	0		
租税公課	0		
役務費	3,660		
雑費	9,300		
その他経費計	292,020		
管理費計			
経常費用計		484,545	2,104,655
当期経常増減額			404,165
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計		0	0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計		0	0
当期正味財産増減額			
設立時正味財産額			404,165
次期繰越正味財産額			0
			404,165